

## 第3回蔵王町立中学校統合準備委員会 会議録

日 時：令和4年9月13日（火）

午後7時00分～8時56分

会 場：ふるさと文化会館 多目的ホール

出席者： 委 員 25名（8名欠席）

事務局 8名

※出席者の所属，氏名は当日会議資料のとおり

委員以外のもの 東北設計計画研究所・梶浦暁設計共同企業体

1. 開 会 （進行⇒事務局：福地 教育総務課長）

2. 委嘱状交付 ※新任委員代表1名に交付

3. あいさつ （芦立副委員長、文谷教育長）

4. 報 告

造成設計の変更部分について報告

建築設計について報告

5. 議 事

（1）委員長及び副委員長の選任について

（2）部会の設置について

（3）部会長及び副部会長の選任について

（4）第1回部会の開催予定について

6. そ の 他

7. 閉 会 （南副委員長）

## 発言の要旨

(氏名) (概要) (要)

### 《開会》

教育総務課長：定刻になったので、第3回蔵王町立中学校統合準備委員会を開会する。会議に先立ち、新たに委員に就任された方に委嘱状を交付する。本来であれば全員に渡すところだが、時間の関係上、代表の方1人に交付する。それ以外の方は、資料と併せて机上に配布させていただくので了承願う。

それでは、新たに委員に就任された方を代表して、遠刈田小学校PTA会長の 富田康弘 様、その場にご起立願う。

教育長：(委嘱状交付)

教育総務課長：開会にあたり、昨年度委員長を務めていただいた円田小学校PTA前会長の村上委員の後任の佐藤委員からあいさつをもらうところだが、所用により欠席のため、準備委員会副委員長の平沢小学校PTA芦立会長にあいさつをお願いする。

副委員長：(あいさつ)

教育総務課長：続いて、文谷教育長からあいさつを申し上げる。

教育長：(あいさつ)

教育総務課長：議事に入る前に、配布資料を確認する。次第が付いた資料1冊と統合中学校準備委員会だより第3号である。不足はないか。

教育総務課長：次に、委員の3分の1近くが変わっていることから、一言ずつ自己紹介をお願いする。

各委員及び事務局：(自己紹介)

教育総務課長：ここで、定足数を報告する。委員総数33名中、25名が出席しているため、準備委員会設置要綱第6条第2項により、本日の会議は成立した。

(氏名)

(概

要)

教育総務課長：次は、次第4の報告である。事務局から説明する。

準備室長：(蔵王町立中学校統合準備委員会だより裏面に基づき、用地拡張及び造成設計の計画変更について説明)

設計事業者：(スクリーンに映した映像及び模型に基づき建築設計について説明)  
※今後の入札等への影響を考慮し図面等資料は配布しない。

教育総務課長：報告は以上である。造成及び建築設計について質問を受けつける。

委員：1階部分において、ガラスにより校庭等が見渡せるとの説明だったが、腰より上からガラスなのか、1面ガラスなのか。それによって、ぶつかった場合強度的には大丈夫だと思うが、どのくらいガラスの範囲を考えているのか。

設計事業者：雪が積もるため、腰の壁は職員室のところでは考えている。上の階も西風抑制のため、庇が出ていてバルコニーが飛び出ている。職員室はいろいろな物を腰壁の部分に置いたりすることも想定される。したがって、ガラスは1面ではない。

次に、特別支援の部分だが、蔵王ホールや幅の広い廊下、テラスにアクティブに出入りできるように、窓が下までの部分も一部あるが、基本的には腰までである。

設計事業者：補足だが、ガラスのむき出しの扉をイメージしたのかもしれないが、そうではなく、木製の建具などの枠がしっかりあって、その中に大きな面積でガラスがあったり、腰高まで木製の壁が付いているなど、通常の学校のような納まりの中で、透過性の高い面積を大きくとっているようなイメージである。

教育総務課長：中央に模型があるので、それを確認しながら質問という形でも構わない。図面での説明よりもリアルにイメージできると思うので、遠慮せず前に出て確認してほしい。

(氏名)

(概

要)

《以降、マイクを使わない発言があり聞き取れない部分があるため、一部省略》

委員 : 火山泥流による被害を想定して、50cmかさ上げしているという説明だったが、火山泥流以外に、全国的に想定外の雨水が発生している。想定外の雨があった場合のことを想定して50cmとしているのか。

設計事業者 : 敷地の南西角をポイントとしているが、そこから東に向かって道路が下がっていく。南西角のポイントとするところで道路から50cmとしているが、北西角はもともと地形的に2m高くなっていて、南東角では造成により4m上がる。

委員 : 調整池の考え方について、説明で大雨時に一時的に貯留するとのことだが、大雨の頻度はどれくらいで想定しているのか。その中にテニスコートを設けるということで、その大雨によってはテニスコートがダメになる。大雨は予測できるため、事前に避難はできるが、その都度テニスコートが使えなくなる。テニスコートの仕上げはどのようにするのかによって後々のメンテナンスが変わってくる。そういった部分をどこまで考えているか。大雨もハザードマップで言う計画最大規模、想定最大規模なのか、現段階でわかれば教えてほしい。

準備室次長 : 宮城県の河川課が定める基準で設計している。

設計事業者 : 仕上げはハードコートとしている。

設計事業者 : 水が溜まった時に毎回清掃するのが大変なため、テニスコートは調整池の底面より少しだけ上げている。基本的には、底面の部分で集水して排水するため、コート上には常時水がこないようにしている。

準備室次長 : 清掃用の水道は設置する。

委員 : 雨量はどの程度で想定しているか。

準備室次長 : 現在、オリフィス柵から排水する用排水路との関係から、流せる量を設計中である。

(氏 名)	(概 要)
委員	：ございんホールの場合は駐車場になっているが、子どもたちが活動する場所とすることに心配がある。配置計画、どうしてもここに設けなければならないことはわかるので、使う人がそれを理解した上で使っていけるような説明があればよいと思い質問した。
準備室次長	：大雨が降るようなときは門扉を閉めるなど、立ち入りできないように対応していく。
委員	：プールを造らないことになり、B & Gのプールを使用することになったとのことだが、B & Gのプールはかなり老朽化が進んでいる。その点についてはどうか。
教育長	：今年の6月にB & Gプールの上屋を含めて新しくしており、見てもらうと分かるが、当分は問題なく使用できる。
委員	：特別支援教室が1階にあるのが不思議である。特別支援学級と普通学級間での通級の場合、支援学級からわざわざ2階に上がらなければいけないのか。特別支援学級には通級の仕組みを採っている生徒もおり、普通学級の生徒と一緒に活動する場面があるのになぜ1階に特別支援教室があるのか。
設計事業者	：グラウンドに面していることや地面に近いこと、また職員室に近いことなどのメリットを取るためこの位置に設けた。昇降口から蔵王ホールに向かう部分と体育館に向かう部分がクロスする、一番人が多く通る部分に近いところに面して設けており、また蔵王ホールの部分は吹き抜けになっていることから一体感が出るようにしてある。
教育長	：現在、宮中学校では2階が普通教室で、1階に特別支援教室があるが、その間を移動することに支障はない。また、子どもたちの中には他の学級の子どもたちと会うことを嫌がる場合も出てきている。そのため、わざわざ裏から学校に入り特別支援教室に向かうケースなど、情緒支援関係でそのような事例がある。そのためここに設けるが、中央の階段で2階に行け

(氏名)

(概

要)

ることを考慮すれば、支障はないと判断したものである。

設計事業者 : 今話が合ったようなプロセスで決めていった経緯はあるが、今後、生徒数が減少していくという予測もあり、その際には、ある程度一緒に生活できる生徒については、2階の教室を使用していくことも話の中で出ている。

教育総務課長 : 他になければ、説明と質疑応答は以上として、次の議事に入る。席に戻ってほしい。

ここから議事に入る。議長は委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が務めることになるが、本日は欠席のため要綱第5条により芦立副委員長にお願いする。

《以降は、自席に戻り発言しているため、全て記載》

議長 : 初めに、委員長及び副委員長の選任についてを議題とする。

要綱第5条には任期の定めがないが、年度が変わり委員に異動があったことから、改めて互選する必要があると思う。委員長及び副委員長は委員の互選で決めることとされているが、どのように決めればよいか。意見があれば出してほしい。

議長 : 特に意見がないようだが、事務局からなにかないか。

準備室長 : 特に自薦、他薦等ないようなので、事務局案を申し上げる。委員長に平沢小学校PTA会長の芦立委員、副委員長は永野小学校PTAの南委員にお願いできればと考えている。協議願う。

議長 : 事務局から提案があったがいかがか。承認される方は挙手願う。

《挙手多数》

議長 : 挙手多数のため、委員長に芦立、副委員長に南委員とさせていただく。

《新委員長、新副委員長あいさつ》

(氏名)

(概

要)

議長 : 次に、議事2について事務局から説明を求める。

準備室長 : (資料3ページ及び4ページに基づき説明)

議長 : 事務局から説明があったが、質問等はあるか。

委員 : 部会の構成について、見る限りまんべんなく配置されていると思うが、後の方に書いてある業務内容を考えると、例えば学校教育部会で教育課程を決めるなど、そういった内容を話し合う部会であると思うが、中学校の先生はお一人しか入っていない。これで細かいところまで考えていくのかというところに疑問がある。逆に言うと、PTAのところはもしかしたら全部の中学校のPTA関係者が入らないといけないのではないかとも思える。まんべんなくはいいのだが、ある程度専門性というか得意な分野があるのではないかと思うところから、この配置には疑問がある。

教育長 : 例えば、学校教育部会で早急に決めなければならないのは制服・運動着である。開校の2年前から新しい制服に変えていく、あるいは、開校後の2・3年生は今までの制服を着て新1年生だけが新しい制服を着るというようなことを考えると、3年ぐらい前には決定しなければならない。そういったことがあって、中心はそういったところを話し合っていたきたい。

学校の運営方針などについては、校長先生やそのほかの先生たちに入っ  
ていただき、別な形でしっかり揉まなければならないと考えている。ここ  
は部会であることから、まず取り掛からなければならないことを中心に話  
し合っていたきたい。

総務部会については、学校の名称を決めないと補助事業が受けられなく  
なる。そのため、来年、再来年にも決めなければならない。そして、校歌  
を決めなければならないということで、優先順位があることから、ここに  
記載されているものを一度に全て行うということではなく、みなさんのお  
力をお借りしたいと考えている。

(氏名)

(概

要)

委員 : 教育長の話は十分わかった。ただ、3ページの一番下に記載されている「所属する部会は、原則として開校まで変更しないことを想定している」という部分は、「変更することを想定する」ことにしないとまずいのではないかと思うがどうか。

準備室長 : 話のとおり、教育課程などについて、教職員以外の委員が検討できるのかということに対して、現実問題として中学校の先生が1人しか所属していない状況で進めるのは難しいということで、教育長からは学校の先生方の協力をいただきながら、検討していくと答えたところである。

そのため、学校教育部会のほかPTA部会もそうだが、この部会だけで全て検討するのは現実的ではないと思う。例えば、PTAの関係であれば会長さん全員に集まっていただき話し合ってもらったこともあると思われることから、そういう意味では、準備委員会で検討するというよりは、別枠で検討していただく場面でできるのではないかと考えている。

教育長 : 原則として変更しないことを想定となっているが、少し様子を見て進めながら、組織のことも弾力性をもって進めていきたいと考えている。

議長 : その他無ければ質疑を終了して次に進める。

議事3と議事4については関連がありますので、事務局から一括して説明願う。

準備室長 : (資料5ページ及び6ページに基づき説明し、説明後部会ごとの配置に会場転換)

《部会長、副部会長の選任と、総務部会及び学校教育部会の第1回予定を協議》

教育総務課長 : 時間になったので、部会での協議はここまでとさせていただく。席はそのままでかまわないので、各部会から部会長等の報告をしていただく。それでは、総務部会からお願いする。



(氏名)

(概

要)

総務部会 : 部会長は、宮小学校PTA会長の新貝委員が就任する。副部会長には永野幼稚園PTA会長の樋口委員が就任する。

第1回部会は令和4年11月4日(金)19時から開催することとする。

教育総務課長 : 続いて学校教育部会から願います。

学校教育部会 : 部会長に宮幼稚園の早坂委員が就任する。副部会長には円田中学校長の小原委員が就任する。

第1回部会の開催日は現時点で決まっていないため今後決める。

教育総務課長 : 次に通学環境・PTA部会から願います。

通学環境・PTA部会 : 部会長に宮中学校PTA副会長の森委員、副部会長に遠刈田中学校PTA会長の尾形委員が就任する。

教育総務課長 : 最後に、既存校舎部会から願います。

既存校舎部会 : 部会長に平沢区長の平沢委員、副部会長に永野西区長の會田委員が就任する。

教育総務課長 : ただいま各部会から報告がありました。以上で議事の一切を終了する。  
その他、委員の皆さんから意見、質問等あるか。なければ次第の6その他として事務局から連絡する。

準備室長 : 今後の予定について、総務部会は11月4日、学校教育部会は事務局案を基に調整させていただく。その後全体会の準備委員会を開催することから、各部会の開催以降に正副委員長と調整のうえ設定させていただく。主な議題は、各部会での協議結果の報告とそれを受けての協議となる。

二点目として、これまで準備委員会を開催後に準備委員会だよりを発行しているが今回も同様に発行を予定している。これまでと同様に配布するので目を通してほしい。

(氏名)

(概

要)

三点目だが、建築の設計について最終形として報告した。準備委員会での報告は今回が最終になる。若干の修正が必要になる部分については、学校の先生方から意見をいただきながら調整していく。

教育総務課長：長時間にわたる協議に感謝する。閉会にあたり、新副委員長の南委員からあいさつをお願いする。

新副委員長：(閉会あいさつ)

《閉会》